
夏の陽炎。もしくは、聞こえたんだからしょうがない

浮羽ゆ-

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夏の陽炎。もしくは、聞こえたんだからしょうがない

【Nコード】

N7798V

【作者名】

浮羽ゆ -

【あらすじ】

ジャスト200文字の小説です。

じりつく夏の太陽の下。

同期生と河川観測終了のメールを待っていた。

「まだ続けるのか。まいったね」

振り向くと、もうろうとしている小嶋さん。

「熱中症か？」

顔は上気し、瞳孔が定まっていな。

「え、ここで？」

ぼんやりとした返事。

「こんな場所だからだよ。日影も風もない。出歩いてる奴なんて一人もいないよ」

「そ、そだね。……じゃあ」

と、突然シャツを脱ぎ始めた。

「わわわ。何？」

「え？ ……だって。エッチしょうか？ って」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7798v/>

夏の陽炎。もしくは、聞こえたんだからしょうがない

2011年10月3日19時52分発行